



学校だより

平成 31 年 2 月 28 日
No.12 3 月号
横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

未来に向けて

校長 荒井 健

次の文は、5年前、前任校の学校だよりの巻頭に記載した内容の一部です。

～前 略～

さて、先日、ある病院の待合室でとてもショッキングな出来事に遭遇しました。突然、ベビーカーに乗っていた赤ちゃんが、大きな声で泣き出しました。お腹の底から絞り出すような大きな泣き声でした。泣き声でしか自分の意思を伝えられない赤ちゃんには、こういう状況はありがちなことで、特にめずらしいことでもありません。お母さんは、受付で手続きをしていましたので、それが不安になって泣き出したものと思われました。

そこで、お母さんは、そのベビーカーを自分のもとに引き寄せて、改めて手続きを続けました…が、その大きな泣き声は止まりません。お母さんがそばにいても、お母さんが手続きを続けていて自分の方を向いてくれないので、不安感がとれないのかと思いました。

結局、手続きの間中、その赤ちゃんの泣き声はやみませんでした。

手続きが終わり、お母さんは、ベビーカーを引いて、受付窓口から離れました。お母さんが赤ちゃんの方を見ながら、なだめるように移動しても、赤ちゃんはまだ大きな声で泣いています。

困ったお母さんは、ある物をその赤ちゃんに渡しました。するとその赤ちゃんは一瞬にして泣き止んだのです。そのある物とは…なんと、スマートフォンだったのです。

「これがほしかったのね」とあやすお母さんの方に顔を向けることもなく、赤ちゃんはスマートフォンの画面に夢中。指先で、画面を自由自在に操り、周囲には目もくれない様子でした。

まるで、海外のパロディー映像のようですが、つい最近、私が実際に目撃した場面です。まだベビーカーにのり、自分の意思を泣き声でしか伝えられない段階の赤ちゃんがそれがなければ泣き出してしまうほどスマートフォンに夢中になっている…この状況を私はとても奇異に感じました。

子どもたちの未来に向けて、様々な変化が急激に起きている現代です。

～後 略～



5年前に受けた衝撃は、今や当たり前の日常風景になっているように感じます。

これから、ますます便利になるインターネット環境ですが、様々な危険も伴います。また、スマホ中毒という恐ろしい言葉も耳にする時代です。子どもたちの健やかな未来に向けて、学校においても様々な関わりが求められていると実感する日々です。ご家庭においても、このような環境への適切な関わり方についてお話いただければ幸いです。

今後とも、「健康でかがやく子」という本校教育目標の実現に向けて、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。